

学校における議員活動に関する調査結果について

令和8年7月6日、富士川町教育委員会から、令和8年6月15日に富士川中学校で実施した「こども議会」への参加を促す議員活動中の発言について、議会に対し調査依頼がありました。

教育委員会からは、中学3年生への説明の際に、「県内にはいい高校がない」旨の発言があったとの指摘があり、受験期を迎える生徒への影響や教育環境への配慮、議員としての資質及び政治倫理の観点から、事実関係の調査並びに議会として必要な対応及び再発防止策について検討するよう依頼を受けました。

これを受け、富士川町議会では、当該議員及び学校関係者への聞き取りなどを実施し、事実関係を調査しました。

●議会の調査結果

調査の結果、当日の発言を客観的に確認できる録音等は存在せず、また、生徒本人への聞き取りについては受験期を迎える生徒への教育的配慮から実施しなかったため、「県内にはいい高校がない」旨の発言があったかどうかについては断定することはできませんでした。

一方で、当該議員は、中学3年生に対し、高校進学に関する話題について、自身の子どもの進学経験を交えながら説明したこと、また、議会で事前に作成していた説明資料及びガイドラインに沿わず、趣旨とは直接関係のない内容を説明したことを認めました。

議会としては、教育現場において、受験期を迎えた生徒に対し、自身の体験を交えた説明を行ったことにより、「県内にはいい高校がない」と受け止められる結果となり、生徒や保護者に不安や誤解を与えたことは極めて遺憾であり、教育現場における議員の発言には、より一層の慎重さと配慮が必要であると判断しました。

●議会として講じた措置

調査結果を踏まえ、議長は当該議員に対し、教育現場において議会で統一した説明資料及びガイドラインに沿わない説明を行い、その結果として生徒や保護者に不安や誤解を与え、教育委員会から正式な調査依頼に至ったことは極めて遺憾であるとして、厳重注意を行いました。

また、今後は学校における議員活動において、統一した説明資料及びガイドラインを遵守するとともに、教育現場での発言が児童・生徒及び保護者に与える影響を十分認識し、慎重かつ節度ある言動に努めるよう指導しました。

さらに、当該議員から教育長宛てに謝罪文が提出され、その中で、教育現場における自身の発言により関係者へ心配と迷惑をかけたことについて謝罪するとともに、今後は議員としての発言内容の精査を十分に行い、多様な立場への配慮を徹底する旨が表明されました。

●再発防止について

議会では、本件を重く受け止め、今後は次の事項を徹底してまいります。

- ・学校における議員活動では、統一した説明資料及びガイドラインを遵守すること。
- ・教育現場での発言について議員全員で共通認識を図ること。
- ・学校訪問前に説明内容の事前確認を徹底すること。
- ・教育現場における議員としての責任及び倫理意識の向上に努めること。

●おわりに

このたびは、本件により児童・生徒及び保護者の皆様をはじめ町民の皆様、学校関係者、教育委員会にご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

議会としては、本件を真摯に受け止め、再発防止に取り組むとともに、教育委員会及び学校との信頼関係の回復に努め、安心して学ぶことのできる教育環境づくりに協力してまいります。